

# 園評価報告書

報告者：湊高台こども園  
園長 加賀 昭子

令和元年度園評価を実施しましたので、報告します。

## 1 園の教育目標

「こころも からだも つよいこ」

- 明るく元気なこども
- 自分で考え、行動するこども
- 思いやりのあるこども

## 2 令和元年度の重点目標・計画

### ■絵本を一緒に楽しもう（こころ）

月刊絵本のプレゼントや園での生活の中での読み聞かせを充実させる。

### ■外でたくさん遊ぼう（からだ）

外遊びの時間を増やし、体を十分に動かして体力づくりをする。

毎朝のなわとび実施（3歳以上児）

### ■食育目標～楽しく食べて元気な子

じゃがいも、さつまいも、夏野菜などを栽培し、収穫して自分たちで食べることにより、食に対する興味を深め、農家の方や作ってくれる方々への感謝の気持ちを持つ。

栄養士・調理師と関わることで、食事を作る人を身近に感じ、作られた食事をおいしく、楽しく食べる。

### ■子育ての支援～親との信頼関係の構築

子育て世帯同士が交流する機会を設ける。

子育て通信の発行を行い、子育て情報を発信する。

## 3 評価について

保護者、職員にアンケートを実施し、どの程度達成されているかを点数化した。アンケートは、各項目について、

5:とてもそう思う 4:おおむねそう思う 3:少しそう思う 2:あまりそう思わない

1:まったくそう思わない 0:よくわからない、無回答 で回答してもらった。

集計後、5→5点…1→1点として点数化し、平均値を出した。

アンケートの方法：無記名（ただし、クラスは明記）

期間：令和2年2月10日（月）～2月18日（火）

対象者：保護者141名 回収率：93.61% 職員36名 回収率100%

(1) 教育課程・指導について

内容	取り組み状況	令和元年度 (昨年度)	評価
① 基本的な生活習慣が身につくように働きかけをする。	自分のことを自分でできるように促したり、家での生活の様子を保護者と情報交換をしたりして、働きかけをした。	保護者 4.5 (4.7) 職員 4.4 (4.3)	昨年より若干評価が下がったが、2歳未満のクラスでは評価が高い傾向にあった。多少、クラスにより差がある。職員の評価は昨年より微増。今後も意識しながら子どもや保護者の皆様にかかわっていききたい。
② 発達段階に応じた教育の視点を取り入れた保育を行う。	色、形などをもとにした集合遊びを積極的に取り入れ、集合という概念に興味を持てるようにした。 リトミック遊びの実施。	保護者 4.5 (4.6) 職員 4.3 (4.3)	昨年とほぼ同じ程度の評価であった。参観日については、分園と本園で実施日を分けたが、もう少し普段の様子を見ていただく時間をとれた方が良かった。 リトミック遊びについては、それぞれのクラス担当が工夫しながら実施している状況であった。
③ おはよう、おやすみ、ありがとうなどのあいさつが出来るか。	毎日の生活の中で、どんなときにどんなあいさつをするのが良いかを繰り返し伝えていった。	保護者 3.5 (3.9) 職員 4.3	昨年と少し設問を変えた項目のため、単純に比較はできないが、職員の評価の方が大幅に高かったことから、園の中ではあいさつが出来ていると感じられる。また3歳以上児では5～6割が5の評価をつけているため、以上児ではあいさつが身についていると思われる。
④ 人の話を注意して聞く。	集中して話を聞くことができるよう、声がけをした。話す人の顔を見る、静かにして話を聞く、姿勢を正すの3つに気を付けて働きかけた。	保護者 3.5 (3.7) 職員 3.8 (3.4)	全体をとおして4という回答が多かった。昨年より職員の評価が上がっている。 集団で話を聞くときに集中するという態度が身につくにつくると感じられる。

※1～4は3歳以上児のみの回答

(2) 年間行事について

内容	取り組み状況	評価	
⑤ 園行事の計画と運営は適切に行われたか	行事のための詰込みの練習に偏らないように、子どもたちの様子や普段の生活の中で実践していることを取り入れるようにした。また、保育参観は分園と本園で実施日を分けた。	保護者 4.5 (4.4) 職員 4.3 (4.1)	保護者、職員ともに評価が微増している。 昨年度のアンケートにおいて多かった行事の際の会場の使い方等の意見を踏まえて改善したことや、保育参観を分園と本園の日程を分けたことを評価する声があった。

(3) 健康保健・安全対策

内容	取り組み状況	評価	
⑥ 子どもの体調に気を配り、家庭との情報共有に努め、適切に対応する。	家での子どもの状況を、連絡ノートや朝夕の送迎の際に情報交換をするように努めた。また、朝体調のすぐれない子は定期的に検温するなどして体調の変化に気を付けた。	保護者 4.6 (4.6) 職員 4.6 (4.4)	自由記述欄において連絡ノートの記載や助言に感謝する声が多数あった。昨年は職員の中で特定の子に偏ったという反省に基づき、改善できたと考えている。 年度の終わりには、新型コロナウイルスへの対応で、検温回数を増やすなどして、体調の管理に気を配った。
⑦ 健康管理、感染症などに対する情報を提供する。	玄関のホワイトボードに、現在流行している感染症や人数を掲示したり、園だよりで情報提供を行った。	保護者 4.5 (4.5) 職員	感染症情報を毎日ボードに記載している。ただし、個人情報に配慮しなければいけない場合もあるため、気を付けて情報提供を行っていききたい。

		4.7 (4.6)	
⑧ 園の施設環境を適切に整え、清潔に保つ。	<p>定期的に施設を見回りしながら点検し、遊具や施設を整備した。</p> <p>平常時のおもちゃ等の消毒に加え、新型コロナ対策として、人の手が触れやすいところは頻回に除菌を行った。</p>	<p>保護者 4.7 (4.6)</p> <p>職員 4.5 (4.2)</p>	<p>昨年に引き続き、高い評価をいただいた。</p> <p>毎月施設内を点検しているが、建具などの不具合などを再度総点検してより安全に子どもたちが生活できるようにメンテナンスを行いたい。</p>

(4) 園全体の運営

内容	取り組み状況		評価
⑨ 子どもの状況について、保護者と情報交換を行う。	<p>連絡帳や送迎時の対話などで、子どもについての情報交換をし、相談を受けたり助言を行ったりした。</p> <p>特に支援が必要な子については、時間を取って保護者と話し合いをし、共通認識をもって保育活動が出来るようにした。</p>	<p>保護者 4.5 (4.4)</p> <p>職員 4.3 (4.3)</p>	<p>連絡帳についての感謝の言葉が多かった。</p> <p>昨年度も希望があったが、普段の様子の子の写真の販売については、なかなか出来なかった。</p>
⑩ 園からの手紙等（お知らせ、園だより、食育だより、ホームページ等）で家族や地域への情報提供を行う。	<p>園だより、クラスだよりはそれぞれ月1回発行し、子育てに関する情報を掲載するようにした。ホームページでは、行事や普段の様子を写真付きで紹介した。</p>	<p>保護者 4.6 (4.6)</p> <p>職員 4.4 (4.4)</p>	<p>保護者の評価が5, 4で9割を超えた。しかし、ホームページの情報更新が滞ったり、特定のクラスに偏る傾向がある。</p> <p>クラスだよりで給食の様子を載せてほしいという声があったため、次年度掲載していきたい。</p>
⑪ 絵本読み聞かせによる保育の充実。	<p>0歳児1歳児クラスの園児に月1冊の絵本をプレゼントする事業を始めた。保護者向け絵本の講演会の実施や、情報発信を行った。また、クリスマス発表会の際は全園児に絵本をプレゼントした。</p>	<p>保護者 4.4</p> <p>職員 4.6</p>	<p>毎月の絵本プレゼントを実施した分園では8割が5と回答した。他のクラスにおいても、肯定的にとらえている保護者の方が多いと感じた。</p> <p>園での読み聞かせの様子をもう少し広報する必要があると感じた。</p>
⑫ 外遊び等による体力づくり。	<p>天候を見ながら外遊びをする時間を増やした。遅番の時間や、少しでも時間のある時に外に出て遊ぶようにした。</p>	<p>保護者 3.8</p> <p>職員 3.6</p>	<p>一番評価が低い項目だった。</p> <p>昨年度よりは確実に外で遊ぶ機会が増えたが、もっと外で遊ばせてほしいという希望が多かった。</p> <p>職員の評価も低かったが、原因としては時間が中途半端になり、十分に遊び込めるくらいの余裕を取れなかったことがある。</p>
⑬ 食育について積極的に取り組む	<p>じゃがいも、サツマイモ、夏野菜の栽培を行い、その様子を玄関に写真付きで掲示した。</p> <p>年2回、食育だよりを発行した。</p> <p>行事食の際に、メニューの紹介だけではなくカロリーの表示を行うようにした。</p>	<p>保護者 4.4 (4.4)</p> <p>職員 4.5 (4.2)</p>	<p>献立のレシピが知りたいという声や、給食の様子がもっと知りたいという声があり、給食に関心がある様子が見えかけた。</p> <p>次年度、給食のシステムを入れ替えて、献立の内容をさらに詳しく紹介できるようにする。</p>
⑭ 子育ての支援を行う	<p>親子で参加できる子育て支援教室「コスモスひろば」を開催した。</p> <p>月1回、子育て情報を発信する「コスモスだより」を発行した。</p>	<p>保護者 4.1 (4.3)</p> <p>職員 4.4 (3.9)</p>	<p>子育て支援の教室を園の職員が行うことが出来たことから職員の評価が昨年度より高くなった。保護者の評価は少し下がったが、昨年度よりバリエーションを増やすことが出来た。</p>

	絵本の読み聞かせ講演会、アレルギーに関する講演会など、保護者と職員と一緒に学ぶことのできる機会を設けた。		
⑮ 小学校と連携し、スムーズな就学を支援する	<p>青潮小学校…運動会の見学と、1年生と就学児との交流会を行った。</p> <p>湊小学校…湊地区幼保こ小連携協議会を複数回開催。指導者同士の交流として、言葉の教室職員との情報交換を行った。</p>	<p>保護者 4.1 (4.1)</p> <p>職員 4.4 (3.8)</p>	<p>昨年度と同じ傾向が見られたが、職員の評価は上がった。</p> <p>分園で評価が低い傾向にあったため、本園に掲示している、交流行事の紹介を分園にも掲示するなどしたい。</p> <p>湊小学校と行っている協議会においては、職員の異動があり、カリキュラムの検討までは出来なかった。</p>

#### (5) その他

内容	取り組み状況	評価
職員の人材育成	<p>キャリアアップ研修受講状況</p> <p>4分野終了 7名 3分野終了 4名 2分野終了 2名 1分野終了 4名 ※1分野は15時間</p>	<p>順調に分野取得出来ている。来年度は準職員やパート職員の受講も進めたい。</p>
自己評価についての見直し	<p>園評価につながる自己評価リストについて、以前までは100項目以上あるものを使用していたが、今年度は話し合いのうえで項目を絞って実施した。</p>	<p>10月に一度職員の面談を行って、半期の振り返りと残り半期について一度見直しをすることにより、意識を途切れさせることなく保育できたのではないかと感じる。</p>

#### 全体の評価

##### ○クラス運営の評価について

昨年は全体的に時間に追われたという声が多かったが、今年度はそのような声は減少し、余裕を持ったクラス運営が出来ていると感じられた。内容がワンパターンになったという反省があったため、教材についての話し合いができる機会を設けたい。

総合的にみると昨年度の反省を踏まえて改善できているところが多かったように思う。しかし、外遊びについては保護者の評価が一番低かった項目であり、自由記載欄でももっと外で遊んでほしいという意見が多かった。前年度よりは外遊びの時間を多くとっていたが、もう少し実施方法に工夫が必要だと感じた。

##### ○全体をとおしてあげられていたこと

給食への要望が特に多かった。次年度は、栄養管理システムの入替えを予定しており、現在よりも詳しい栄養内容が分かるようになる。また、給食のショーケースを分園にも設置し、行事食だけではなく普通食、新メニューも展示し、レシピ配布を行うことにした。給食への要望が多かったことは、保護者の方々の食育に対する意識の高まりだと感じるので、今後も工夫しながら食育を行っていききたい。

今年度から絵本の読み聞かせを通じた保育や家庭での愛着形成を図ることを目標にしてきたが、絵本プレゼント事業は非常に効果が高いと感じている。一番の目的である愛着形成については、「触れ合う時間が増えた」と考えている保護者がとても多かった。また、実施したクラス(1歳児)では従来の同年齢の児よりも、使うことのできる言葉の数が増えている実感があるということだった。来年度も0・1歳児の絵本プレゼントは続けていきたい。他年齢の園児も、絵本に親しむ習慣が続いていくように働きかけていきたい。

外遊びについては、本園園庭の水はけが以前より悪くなっており、天気良くても園庭の状況が悪いため外に出られないことや、まとまった外遊びの時間を十分に取れなかったことが反省として挙がっていた。園庭の環境整備や、使い方について職員間の連携を深めるなどして、改善をしていきたい。